

『人間科学研究紀要』創刊に際して

平成13年4月に、関屋キャンパスに大阪樟蔭女子大学人間科学部・短期大学部が誕生した。樟蔭学園高等教育部門の再編成を平成9年より着手し、従来の小阪キャンパス学芸学部（国文学科，英米文学科，食物学科，被服学科，児童学科）と関屋キャンパス樟蔭女子短期大学（日本文化史科，日本文学科，英米語科，人間関係科）の類似分野を統合し，新たに，「人間」に焦点をあてた，人間科学部を開設することとなった。この改組転換により，大阪樟蔭女子大学は，学芸学部（国文学科，英米文学科，日本文化史学科，食物学科，被服学科），人間科学部（心理学科，応用社会学科，児童学科），短期大学部（人間関係科）の3学部体制として大きく生まれ変わった。

本学の研究成果を発表する紀要としては，従来，学芸学部の『論集』と樟蔭女子短期大学の『文化研究』の2種類であったが，今回の改組転換に伴い，学芸学部の『論集』は継続し，人間科学部・短期大学部の紀要として，新たに『人間科学研究紀要』が創刊されることとなった。

近年，大学の自己点検，自己評価の重要性が求められている中で，大学人として自己の専門分野で研究に打ち込み，その結果を報告，発表することは，課せられた当然の使命である。『人間科学研究紀要』が，今後，『論集』とともに，本学の権威ある学術研究論文誌として，発展することを願っている。

最後に，今回の創刊にあたり，投稿されたみなさん，編集に携わった学術研究委員会のみなさんのご努力に敬意を表するものである。

2001年11月27日

大阪樟蔭女子大学

学長 森 眞太郎